

情報科3年目頑張ってます！
～ループリックを活用して～

2017年度神奈川県情報部会実践事例報告会
2017.12.26 (火)

神奈川県立鶴見高等学校 情報科 井本絵里

本日の発表内容

1. はじめに
2. ルーブリック評価について
3. 授業内容について（情報モラル授業）
4. まとめ



はじめに



今日お話ししたいこと

ループリック、授業実践...

試行錯誤しています。



はじめに【本校の紹介】

- ▶ 鶴見高等学校
- ▶ 生徒数：946名
- ▶ 全日制普通科

県立高校改革実施計画(Ⅰ期)教育課程研究開発校
平成29年度 鶴見高等学校「新たな学習評価に係る研究」公開研究授業

**ループリックを
用いた授業やります** **県
鶴**

そもそも
ループリック
って何？

思考力・判断力・表現力を
どうやって評価する？

同じ科目で
違う評価基準？

ループリック
で負担減?!

授業公開 平成29年11月15日(水)～17日(金) (随時受付)
講演会 11/16(木) 15:30～17:00
演題：「主体的・対話的で深い学び」と学習評価
講師：専修大学ネットワーク情報学部 望月 俊男 准教授
会場 神奈川県立鶴見高等学校



- ▶ 「新たな学習評価に係る研究」指定校
- ループリックによる授業評価の研究



はじめに 【コンピュータ室について】

- ▶ 4人×10班
- ▶ グループワークが気軽になった
- ▶ PC・中間モニタを端に寄せて作業できる



はじめに【情報科の紹介】

▶ 科目「社会と情報」

▶ 対象：1年生 321名

(男子 165名 女子 156名)

▶ 授業数：50分 × 週2回（2単位）

▶ 教科書：日本文教出版「新・社会と情報」

年間指導計画

4～7月 情報社会の課題と情報モラル

レポート（夏休みの宿題）

9～12月 情報の活用と表現

情報通信ネットワークとコミュニ
ケーション

定期考査・実技テスト

1～3月 望ましい情報社会の構築



はじめに【TTについて】

▶ TT 8名

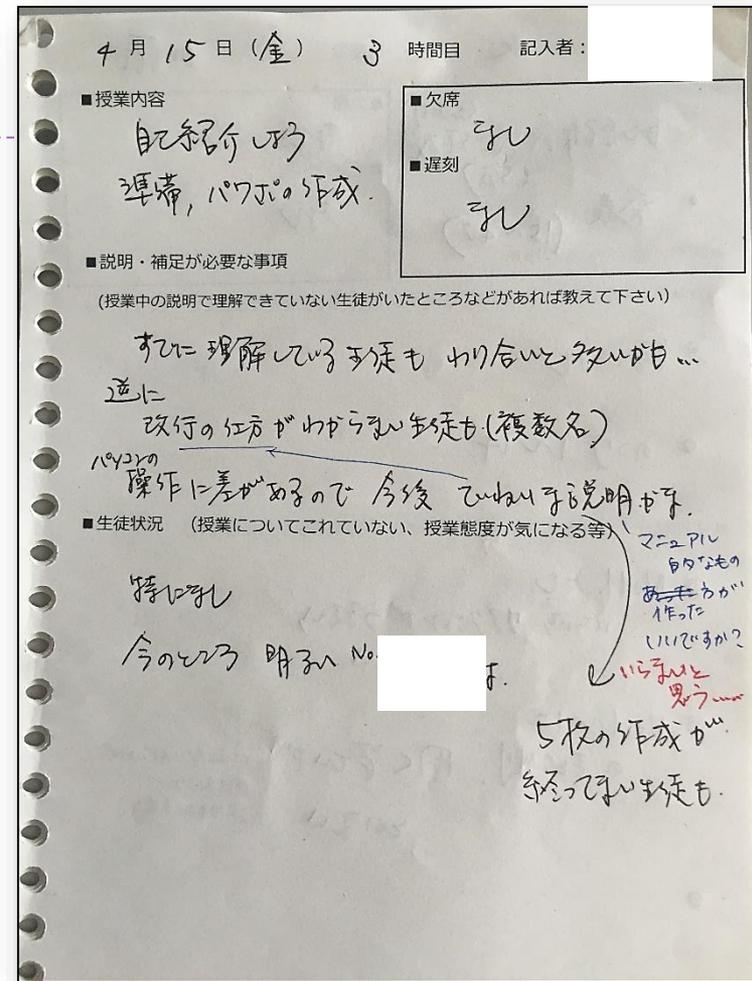
▶ 打ち合わせ：

▶ 授業前後の休み時間

▶ 授業時：

▶ 出欠確認

▶ 関心・意欲・態度の評価（ノート記入）



はじめに 【単元の見通しを持たせる工夫】

本時の目標：望ましい情報社会の在り方を自ら考え、他者に分かりやすく伝える

単元の流れ

- ネットあるあるを考える
- 携帯電話教室
- 情報モラルレポート作成
- ポスター作成
- **中間発表**
- ポスター改善
- 最終発表

本時の流れ

11:50~

挨拶・今日の流れを確認

12:00~

発表・相互評価

12:25~

シート交換・確認・振り返り

12:35~

レポート提出・まとめ・挨拶

★ 中学校へポスター送付
情報モラルコンクールへ応募

ループリック評価について



ルーズブロックの作成について

S	A	B	C
独創的	工夫創造あり	★基準★ 本時目標	基準未満

プリントや作品などに提示



「情報モラル」 ルーズブック （資料参照）

	S	A	B	C
情報モラルの提案	Aに加え、情報社会の問題点を明確にし、改善するための効果的なキャッチコピーである。	Bに加え、これまでの学習を踏まえた中学生にとって身近で分かりやすいキャッチコピーである。	情報社会の問題点への提案や気づきを踏まえたキャッチコピーを作成している。	情報社会の問題点を踏まえたキャッチコピーを考えられていない。 → 情報モラルに関する自分の体験を思い返し、友人に呼びかける一言を考えさせる。
デザイン性	Aに加え、色彩や構成などを効果的に用いて表現している。	Bに加え、キャッチコピーが中学生に伝わりやすいデザインになっている。	キャッチコピーにあった画像やイラストを選択している。	著作権に問題あり。 → 画像の出典を確認し、画像を差し替えるよう指示する。
相互評価	Aに加え、必要な改善点を的確に示している。	Bに加え、コメント時に他者を思いやる表現の工夫をしている。	他者の発表に対し、良い点、改善点を考えてコメントしている。	内容に不足あり。 → 自分ならどう表現するかを考えて書くよう促す。

ループワークのメリット

- ▶ 目標が明確になる
- ▶ 生徒のモチベーションUP
- ▶ 結果的に評価が楽に



ループブロックのデメリット

- ▶ 途中変更できない
- ▶ A (S) にとどまる生徒がいる
- ▶ 基準外の技術や表現が評価
できない



授業について



年間指導計画

4～7月 情報社会の課題と情報モラル

レポート（夏休みの宿題）

9～12月 情報の活用と表現

情報通信ネットワークとコミュニケーション

定期考査・実技テスト

1～3月 望ましい情報社会の構築



「情報モラル」の単元構成

単元の流れ

- 「ネットあるある」を考える
- 携帯電話教室
- 情報モラル調べ学習
- ポスター作成（3H）
- 中間発表
- ポスター改善
- 最終発表

中学校へポスター送付・情報モラルコンクールへ応募

昨年度の反省

1. 中学校の内容と重なっていた
2. 座学が多かった
3. 実生活との結びつきが弱かった



中学生への啓発ポスターの作成・発送により

実生活とのつながりを意識させた

「情報モラル」の単元構成

単元の流れ

- 「ネットあるある」を考える
- 携帯電話教室
- 情報モラル調べ学習
- ポスター作成（3H）
- 中間発表
- ポスター改善
- 最終発表

中学校へポスター送付・情報モラルコンクールへ応募

携帯電話教室:外部講師(教育ネットさん)の講演

- ▶ LHR (生活指導部) → 情報科の一環へ
- ▶ 「ダメダメ教育」から「問題解決」へ



携帯電話教室:外部講師(教育ネットさん)の講演

- 携帯電話教室で学んだこと、考えたことを書いてください

自分たちが「いつもなにが」なつか、という携帯が「使い方をまちが」えると
個人情報「だ」た「も」少「になる」事を知、? 驚いた。

また、自分が「リ」イ「ター」にのせた写真が「あ」ん「な」風「に」さら「さ」れた時、改めて
その怖さを実感した。

「インターネットで第三者に写真を見られる危険性」を
生徒が実感できた

やはりネットは怖いなと思った。でも、それよりも怖いのは
自分の写真がスクリーンに出て「キー」って言った人がいたこと。

そうなることは予想できていたのだろうか。少女の一人が

「うあー、あの人 写真も保存してるんだよ。キキー」って言っていたけど、

なんかそれ違ふよね、と思った。うまく言えないう。

「情報モラル」の単元構成

単元の流れ

- 「ネットあるある」を考える
- 携帯電話教室
- 情報モラル調べ学習
- ポスター作成（3H）
- 中間発表
- ポスター改善
- 最終発表

中学校へポスター送付・情報モラルコンクールへ応募

ポスターのルールブック(資料参照)

	S	A	B ★基準	C
情報モラルの提案	Aに加え、情報社会の問題点を明確にし、改善するための効果的なキャッチコピーである。	Bに加え、これまでの学習を踏まえた中学生にとって身近で分かりやすいキャッチコピーである。	情報社会の問題点への提案や気づきを踏まえたキャッチコピーを作成している。	情報社会の問題点を踏まえたキャッチコピーを考えられていない。 →自分の体験を思い返し、友人に呼びかける一言を考えさせる。
デザイン性	Aに加え、色彩や構成などを効果的に用いて表現している。	Bに加え、キャッチコピーが中学生に伝わりやすいデザインになっている。	キャッチコピーにあった画像やイラストを選択している。	著作権に問題あり。 →画像の出典を確認し、画像を差し替えるよう指示する。

ポスターのルールブック(資料参照)

	S	A	B	★基準	C
情報モラルの提案	12	135	170		0
デザイン性	27	103	187		0

生徒が作成したポスター



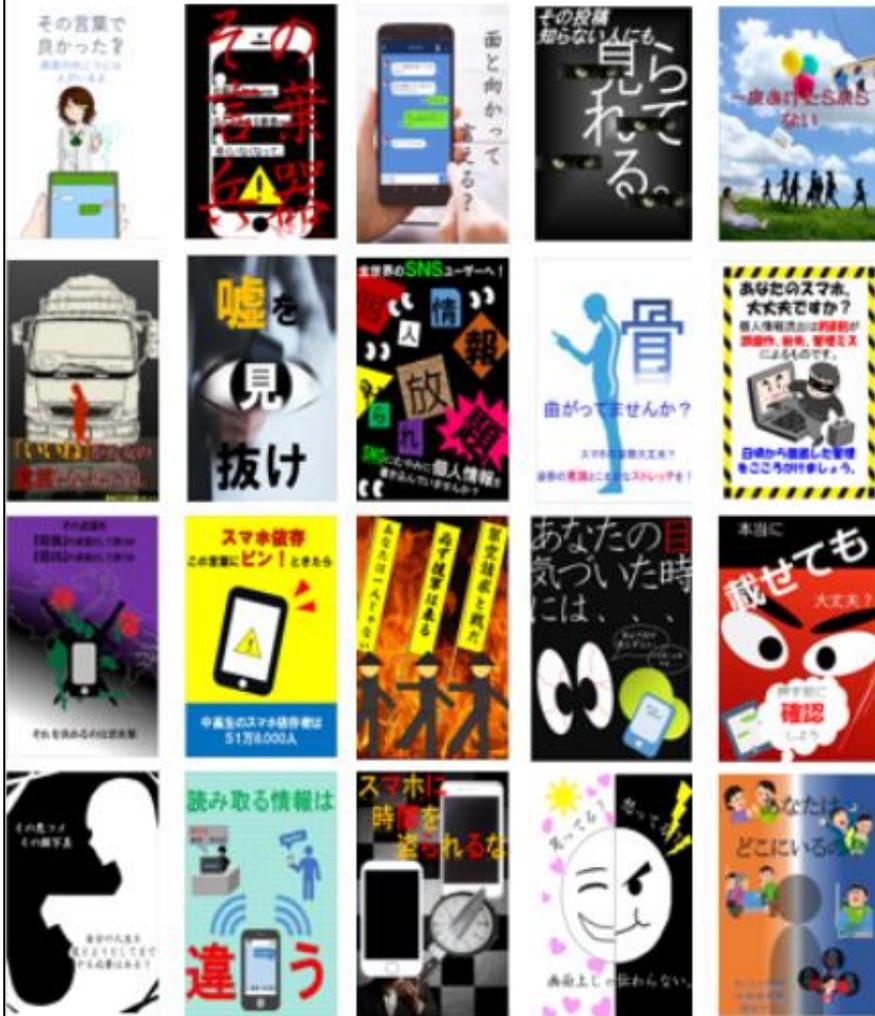
反省：フリー素材は使用しないべき

→ 時間と指導法を検討

生徒が作成したポスター(優秀作品一覧)

平成29年度 神奈川県立鶴見高等学校 1 学年生徒作品

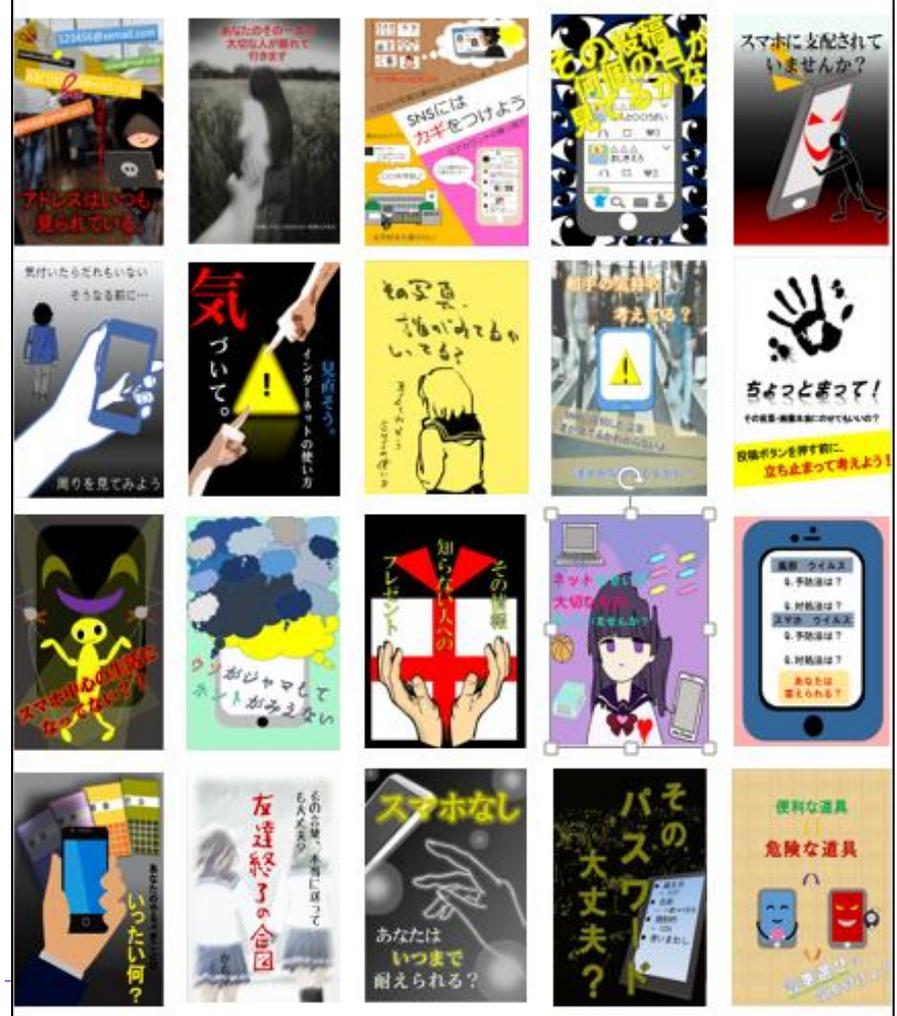
情報モラルポスター



※利用した著作物は、著作権フリーのものを使用しています

平成29年度 神奈川県立鶴見高等学校 1 学年生徒作品

情報モラルポスター



※利用した著作物は、著作権フリーのものを使用しています

実際に中学校に貼って頂いた様子



文化祭で展示した全員分のポスター



全作品をIPA情報モラルコンクールへ応募

生徒の感想

目の前にあるのは画面だけど、しっかり画面の向こうに相手がいることを意識したい。

ネットは便利だけど、使い方によっては危険なことがいっぱいあると学んだ。

その学んだことを誰かに伝えるのが難しかった。

一番自分に危険が生じるので気を付けなければいけない。そのことを画像やポスターを作って伝えると、よりインパクトが強くない自分の頭に残った。

生徒の感想

目の前にあるのは画面だけど、しっかり画面の向こうに相手がいることを意識したい。

反省：まだまだ実生活との結びつきが弱い
→ 継続した指導が必要

一番目分に危険が生じるので気を付けなければいけない。そのことを画像やポスターを作って伝えると、よいインパクトが強くない自分の頭に残った。

まとめ



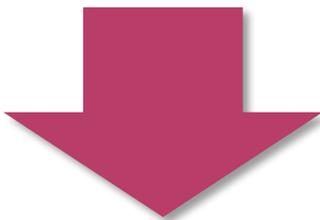
まとめ【実践の成果】

- ▶ ルーブリックにより、**授業の目標と評価基準を明確**にできた
- ▶ 外部講師との連携により、**生徒の実生活と授業とのつながいを意識**させられた
- ▶ **中学校へのポスター送付・コンクールへの応募**が生徒の学習意欲を高めた



まとめ【今後の課題】

教える側が想定したルーズブロックの枠を
超える生徒がいる



- ・そういう生徒を育成できる授業作りを行いたい
- ・生徒の成長を期待するルーズブロックを作成したい



ご清聴ありがとうございました
ご指導のほどよろしく申し上げます

